



平成22年度

豊島区 環境年次報告書

平成23年11月 豊島区



区長メッセージ

3. 1 1 東日本大震災、そして震災に起因する福島第一原子力発電所の事故によって、私たちを取り巻く環境は一変しました。

深刻な電力不足や放射性物質の拡散に対する不安など、これまで経験したことのない危機に直面し、社会経済活動はもちろんのこと生活のあり方も見直しを迫られています。便利で豊かな生活の追及、経済成長に伴う都市化の進展がもたらした様々な問題が、震災を契機に一気に顕在化したといっても過言ではありません。

特に、原子力発電などエネルギー問題については、国民的議論が沸き起こっており、太陽光発電をはじめとする再生可能エネルギーの活用について、大きな関心が寄せられています。

豊島区では、平成21年3月に「豊島区環境基本計画」を策定し、再生可能エネルギーの活用を図るとともに、未利用エネルギーの活用に向けた基盤整備を行なうとしています。この狭小な高密都市としまにおいては、様々な制約がありますが、今回の電力危機をエネルギー消費や一人ひとりの暮らしを見つめ直す好機ととらえ、持続可能な地域社会を築く原動力としていかなければなりません。

幸い今夏は、区民の皆様の節電努力などのご協力を得て、厳しい電力供給状況に対処することができました。しかし、電力不足は一過性のものではなく、今後も継続する大きな課題となっています。

温室効果ガスの急激な増加による地球温暖化など、将来を見据えながらも、地域社会すべての人々が連携・協力して、直面する難局を乗り越えていかなければなりません。そのために、省エネ・節電など、環境負荷の低減に向けさらに積極的に行動していく必要があります。

健やかで美しく豊かな環境が身近な地域から地球規模までにわたって保全されるとともに、それらを通じて区民誰もが幸せを実感でき、未来の世代へも継承することができる地域社会を実現する一。今こそ、豊島区環境基本条例の原点に立ち返り、未来の子どもたちに価値ある街を引き継いでいくために、力を合わせていきましょう。

この環境年次報告をご覧いただいた区民をはじめとする多くの皆様が、豊島区の環境政策に関心を持ってくださり、お一人おひとりが主役となって、ともに新しい時代への歩みを進めていただけることを願っております。

平成23年11月 豊島区長

高野之夫